

指導手順が明確になるとともに、基礎的・基本的内容が分類・系統づけられて、一人一人に合った指導と評価ができると考えた。

④ 一単位時間における利用

一単位時間のパソコンの利用にあたっては、単元での学習内容の理解度別に学習コースを作成し、それぞれのコースに合った補充を行うことで達成目標に近づけるよう配慮した。

指導過程の中にパソコンを活用する場を位置づけることにより、意図的・効果的活用がなされ、自主的学習態度が養われるとともに、学習内容の定着がよりいっそう図れると考えた。

(2) 授業の実践

① 単元名 資料の調べかた

② 本時のパソコン利用の目的
ア. 資料の区間のとりかたについて理解の不十分な児童に対して、パソコンにより個別に学習内容の見直しを図る。

イ. 単元の学習内容が達成されている児童に対しては、市販ソフトによりさらに定着を図る。

③ 本時の目標

自分で集めた資料を整理し、

度数分布表や柱状グラフに表して、散らばりの傾向を読み取ることができる。(本時 11/12時間)

③ 本時の指導の流れ

